

とうきょう すくわくプログラム 活動報告書

園名	江の島保育園
活動日	2026年 1月27(火)
クラス名(年齢)	あおぞら(年長)組
年間テーマ	生き物

① 活動のテーマ「海の生き物」

〈テーマの設定理由〉

動物について知っている事も増えてきている。海の中にも生き物、動物がいるということも知識としてあるが、どんな生き物がどのように暮らしているかは、陸上の動物への関心よりは弱い。水族館に行ったことがある子もいるが、それぞれの経験の差はある中で、海の生き物についての遊びを通して、暮らしや環境などを知る体験ができるようにしたい。

1. 活動スケジュール

遊びの中で、海の中をイメージして構造してみたり、海の生き物のフィギアなどで遊び、会話の中から、それぞれの動物の食物連鎖(弱肉強食の関係)を考えたり、そのためにどんな暮らしをしているのか、どんな場所に住んでいるのか等にも関心が持てるようにする。

また、現実的な表現だけではなく、想像力を働かせた、海の中のファンタジーの世界も広げていけるようにしていく。

2. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- 海の生き物フィギア全種
- テーブル
- ジュエル積み木
- 青い布を敷く
- ネフスピール
- 石、木、サンゴ
- リグノ
- 段ボール積み木で起伏をつくる
- ヴィボ

3 探求活動の実践 <活動の内容>

子ども達に「今日は、海の生き物がすんでいる海を作ってみよう」と伝える。

「テーブルの上を水族館のようにして作ってみよう」と提案し、こどもたちで、段ボール積み木を使い、高低差



を作っていく。

その上に、青い布をかけて海を、イメージしやすくなる。布の青い色でも、深さのイメージがあるようで、こだわりながら布をひいていく。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

大人—海の中って、どうなってる？

子—浅い所と、深いところがある！

子—深い所って、深海？ 深海は、タコとかいるかな？

大人—深い所にいる生き物と、浅いところにいる

生き物違うよね。

子ども—浅い所は、エビがいる！貝もいる！

子—オットセイとかアシカとかいるよ、どこんすんでるんだ？

大人—氷とか陸地にすんでいるよね。どうやって積み木であらわせるかな？

等自分の知っている事を話す中で、どんどん自分たちのイメージで構造していく。



5. 振り返り

<振り返りによって得た気づき>

海の生き物に関しても、それぞれに実際に海に行ったことがある、水族館で生き物をみたことがある直接的体験のある子や、テレビや映像、図鑑や絵本などで見たことがある間接的体験のある子など、それぞれに知っている事があり、作っていく中で、知っている事を表現したり、イメージや想像力が広がって、構造に繋がったりして、とてもユニークな作品ができていた。作る中でも、生き物になって、会話をしあい、ごっこあそびを楽しんでいた。作っては会話、会話しながら作る、を繰り返し、想像がどんどん広がっていくさまが面白かった。リードする子がいることで、触発されて、どんどんそれぞれの個性あるアイデアを出して、あそびが持続していた。子ども達の想像力に驚かされた活動だった。



←

出来上がった作品を、小さい子達を呼んで、見に来てもらった。すごいね！面白いね！と、喜んでもらえることにも、自信や誇り、達成感、満足感を持ってているようだった。なかなかクラスでは味わえない、貴重な体験ができた。